

令和4年度職員紹介

なんでもお気軽にご相談ください！
よろしくお祈りします

※は転入者、◎は新採用、()内は担当分野です。



片桐 淳※ 副部長 (庶務課長兼任)
伊花 純雄 部長
工藤 勝明 副部長 (農業振興担当) 普及指導センター所長

普及課



松澤 清二郎※ 課長代理 (作物)
山崎 裕彦 課長 (作物)
島影 孝 課長代理 (畜産)



中川 文男 課長代理 (果樹)
西澤 靖樹 専門普及指導員 (野菜)
三浦 明広◎ 臨時的任用職員



土田 優斗◎ 技師 (作物)
笹原 光平 技師 (作物)
芹田 洸希 普及指導員 (作物)

企画振興課



後列 佐藤 翔一 技師
帯刀 良太 主任
遠藤 由紀夫※ 副参事 (病害虫防除所佐渡駐在所)
本間 望◎ 会計年度任用職員
前列 大勝 慶子※ 主任
羽鳥 雅幸 課長
相田 和範 企画専門員
滝澤 卓朗※ 主査

羽茂分室



計良 知子 会計年度任用職員
伊藤 公一◎ 専門員 (果樹)
本間 博樹※ 課長代理 (果樹)
佐藤 慶一 主査普及指導員 (野菜)

退職・転出

たいへんお世話になりました

- 本間 泰介… 副部長(退職)
- 本間 信弘… 課長代理
- 大久保宇啓… 課長代理
- 榎田 暢美… 副参事
- 古城 利憲… 庶務係長
- 本田佳代子… 主査普及指導員
- 安藤 健介… 主査普及指導員
- 服部 謙次… 主査普及指導員(退職)
- 前山ちなみ… 主事
- 高橋 涼風… 技師
- 石見 香織… 職員(退職)

さど普及指導センターだより

発行/佐渡農業普及指導センター(佐渡地域振興局農林水産振興部内)

農政庁舎 TEL:0259(63)3185(代) FAX:0259(63)4386 羽茂分室 TEL:0259(88)2064 FAX:0259(88)3644
e-mail:ngt111150@pref.niigata.lg.jp

今注目!

江戸時代から続く「佐渡のみかん」栽培拡大中!

～みかん栽培を経営に組み入れてみませんか?～

佐渡のみかんは甘さに酸味を加えた「味の濃さ」が特徴で、江戸時代より「地みかん」として親しまれてきました。平成13年から温暖な佐渡南部で本格的な栽培が始まり、現在では約6haが栽培されています。

県では令和3年度に、販売金額1億円を目指す産地として「JA佐渡みかん倶楽部」を選定し、産地育成に向け関係機関・団体とともに活動をしています。

現在は南部地区を中心に栽培されていますが、国中地区での導入・拡大を目指し、越冬試験のほ場を設けました。また、金山坑道で貯蔵したみかんを「佐渡金山みかん」と名付け、島内の宿泊施設等でお土産品として販売した他、首都圏でも販売するなど佐渡みかんのPRに努めました。

いま注目の佐渡みかん、皆さんも経営に組み入れてみませんか?



ゆら早生



「佐渡金山みかん」の販売PR

受賞者一覧

令和3年度は下記の方々が受賞されました!!

大会名	受賞した賞	受賞者	地区
全国優良農業経営体等表彰	農林水産省経営局長賞 (担い手づくり部門)	有限会社齋藤農園	新穂
令和3年度新潟県ルレクチエ果実品評会	優秀賞	出口 一栄	羽茂
ノウフク・アワード 2021	審査員特別賞	特定非営利活動法人立野福祉会 障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野	金井

4Hクラブサークル

島っ子会員募集

サークル「島っ子」は農業に興味のある若者たちが活動しているクラブです。
詳しくは普及指導センターまでお問い合わせください。

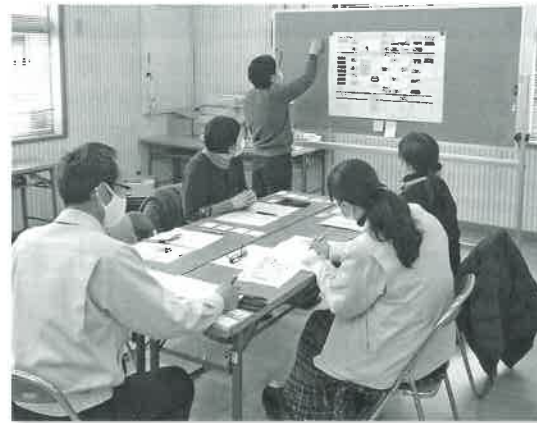
令和4年度 今年度の重点活動を紹介します

1 持続可能な中山間地域農業・農村への取組「ビレッジプラン2030」

県では、地域住民の減少により集落が担っていた役割の維持が困難となることから、地域農業と集落機能の維持に向けた地域での話し合い等によるビレッジプラン2030の作成やその実現に向けた取組を関係機関と連携して支援しています。

令和3年度は3地区（宿根木、旧羽茂町、川茂）で取組を実施し、将来人口の予測シミュレーションや地域の組織の相関図作成などにより現状分析し、地域の将来の姿とその実現に向けた取組について話し合いを行っています。例えば、旧羽茂町地区では、新規参加者等が就農・定住しやすい環境の整備に向けて、住居や農舎を集落協定等が紹介や斡旋できるような体制ができないかを検討しています。

令和4年度は新たに1地区を加え、計4地区において取組を支援していきます。



女性農業者とのビレッジプラン検討

2 園芸生産拡大の取組(園芸の販売額1億円産地の育成)

令和3年度からJA佐渡みかん倶楽部とJA羽茂推進品目の2つの産地を加え、合わせて5つの産地で販売額1億円産地の育成を進めています。

令和4年度も引き続き、関係機関からなる産地支援チームを中心に、栽培技術研修や新技術の紹介、新規栽培者の募集などに取り組み、収量・品質の向上や生産面積の拡大を推進します。

特に、新規栽培者の方へは、初心者向け技術研修や新規導入にかかる経費の支援など、安心して取り組めるようサポートに努めますので、興味のある方はご連絡ください。

▶JA佐渡…柿、アスパラガス、みかん

▶JA羽茂…ル レクチエ、JA推進品目(あんぼ柿・干し柿、アスパラガス)



ル レクチエ栽培技術向上の取組 (チャレンジ農業実践講座)

3 安定的な地域農業構造の確立

労働力の減少と高齢化が進む中、「持続可能な佐渡農業」の実現に向け、担い手を中心とした安定的な農業構造の確立が必要となっています。そのため、組織化に向けた話し合いなど、人・農地プランの実践が円滑に進むよう、関係機関と連携して、地域の取組を支援しています。

令和4年度は特に、「法人化及び法人の体質強化」、「農地の集約化」、「法人間の組織的連携」の取組を、重点的に支援していきます。



法人設立の検討の様子

4 佐渡農業を担う人材の確保・育成

引き続き就農相談から就農後の経営安定まで、関係機関と連携して支援していきます。

就農相談では、関係機関で構成する「新規就農担い手支援チーム」で、就農希望者の意向や状況を確認しながら、技術習得など就農のサポートを行っていきます。

就農後の定着と経営発展に向けた取組として、栽培技術の向上など経営改善指導を行うとともに、先輩就農者等の取組紹介や参加者同士の交流を目的とした「佐渡若手農業者交流会」を開催します。

また、園芸参加塾では「アスパラガスコース」に加え、新たに「みかんコース」を開講しますので、参加を希望される場合は普及指導センターへお問い合わせください。



佐渡若手農業者交流会

昨年度の主な活動成果を紹介します

前述の活動のほか、次の活動も行っており、その成果を紹介します。

① 佐渡米の品質向上に向けた取組

消費者から信頼され、地域農業の基盤となる米づくりを継続するため、関係機関連携による佐渡米未来プロジェクト「品質向上90」に取り組んでいます。

生産者が気象変動に対応した管理を徹底した結果、令和3年産コシヒカリの1等級比率は89.6%*と、高品質な佐渡米の生産につながりました。

(※令和3年12月末現在のJA佐渡とJA羽茂の検査数値を合算)



重点技術「中干し」の開始判断方法を学ぶ

② 和牛繁殖経営の収益向上に向けた取組

高千家畜市場への子牛の上場頭数を増やし、市場評価を高めることが重要であることから、市場開催の約2か月前に巡回指導を実施しています。JAや家畜保健衛生所と連携しながら、出品予定牛の体重、体高、栄養度などを測定し、発育基準との比較による改善点の指導等を行っています。令和3年度は、上場頭数が計357頭(前年324頭)に増加し、また、1日当たり増体量の改善等により、販売価格の向上につながりました。



市場開催前の個別巡回指導会

昨年度の活動結果の詳細は、ホームページでご確認ください。

佐渡農業普及指導センターホームページ

https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sado_nourinsuisan/index01.html

※右のQRコードを読み取ると上記ページが表示されます。

